

経営比較分析表（令和2年度決算）

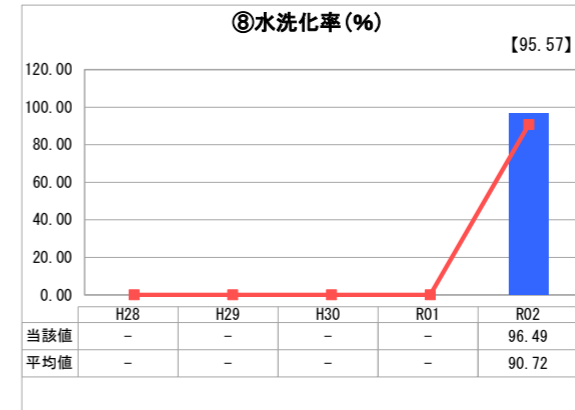
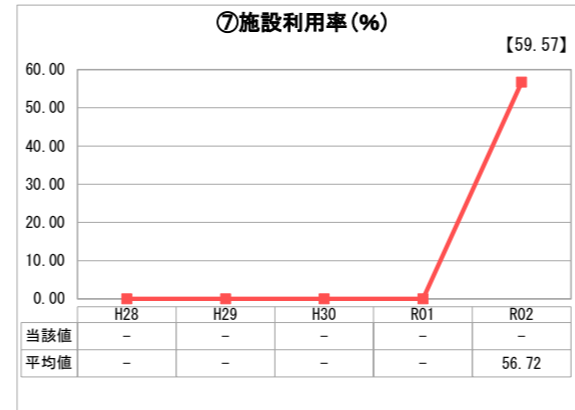
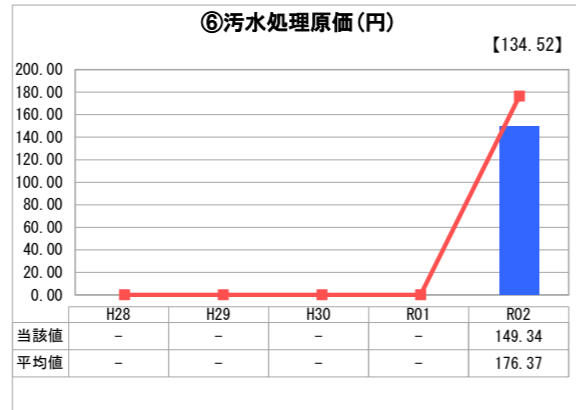
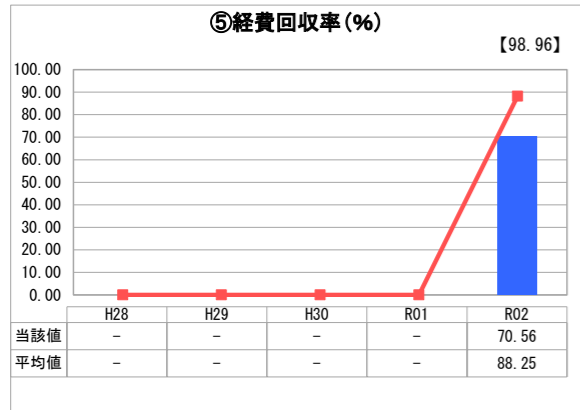
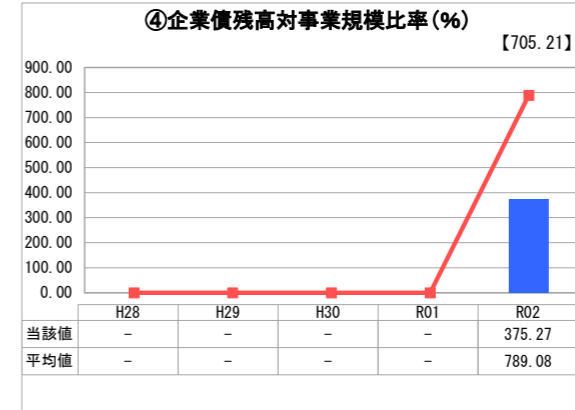
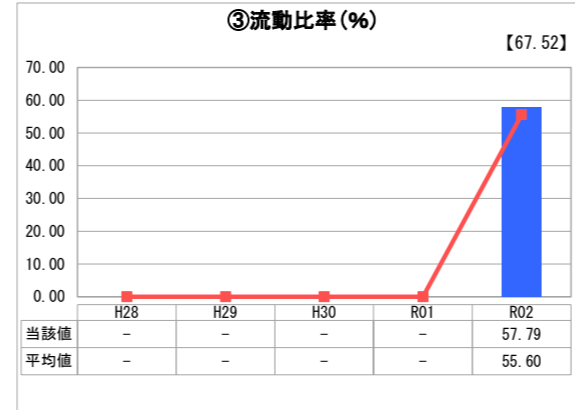
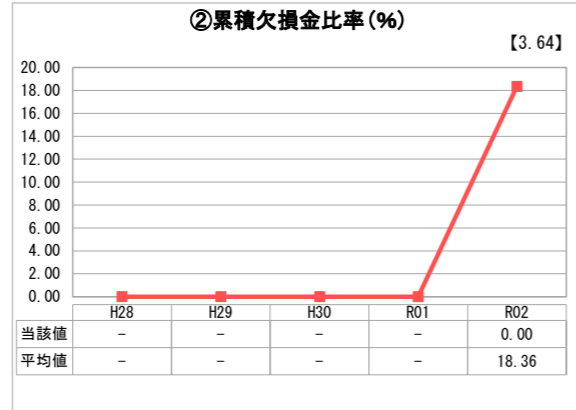
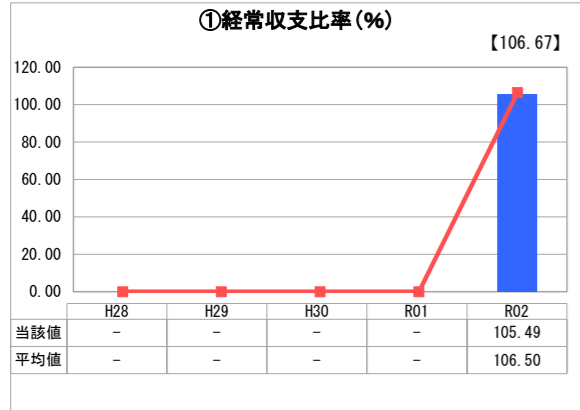
神奈川県 大井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	78.00	90.93	88.61	1,792

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
17,317	14.38	1,204.24
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
15,732	4.39	3,583.60

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年4月に地方公営企業法を適用し、公営企業会計に移行したため、前年度以前の数値は表示されていません。

①経常収支比率は100%を超え、類似団体の平均値とほぼ同水準ですが、供用開始から30年以上経過し、施設の老朽化に伴う維持管理費の増が見込まれるため、使用料収入の増が必要となります。

③流動比率は類似団体の数値を超えているものの、低い水準にあり、1年以内の短期的支払に資金の余裕がない状況です。

④企業債残高対事業規模比率は企業債残高のピークを過ぎており、企業債残高は減少傾向にあります。

⑤経費回収率は使用料で賄うべき経費をどの程度使用料で賄っているかを表した指標であり、70.56%と低く一般会計からの繰入金に依存している状況です。比率100%に向けた経営改善が必要です。

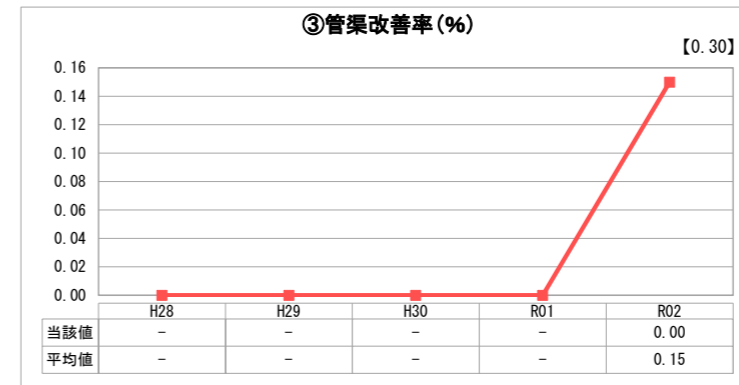
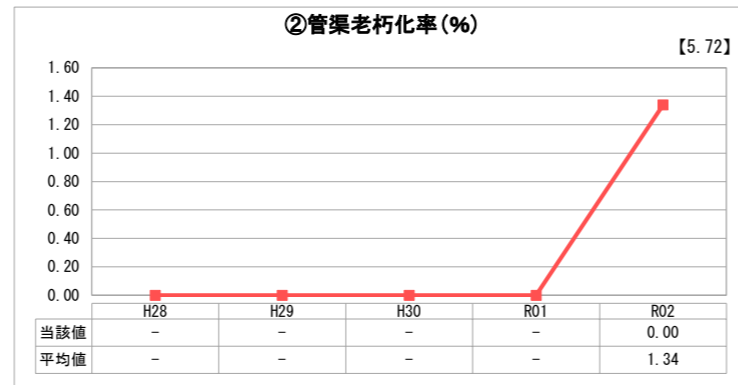
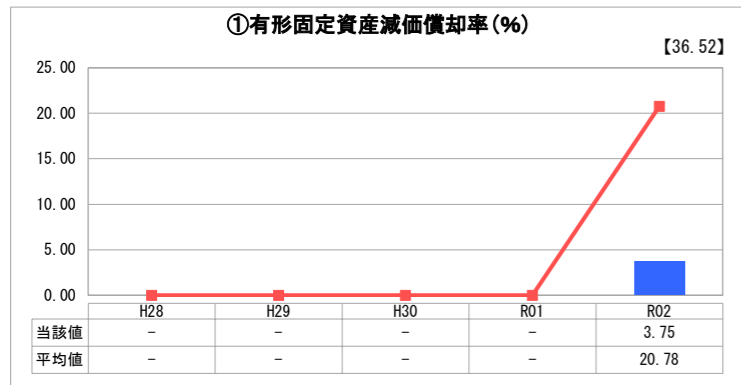
⑥汚水処理原価は有収水量1m³当たりの汚水処理に要した費用であり、類似団体の平均値と比較すると低い状況です。

⑧水洗化率は未接続世帯への戸別訪問等を行っていますが、引き続き接続率の向上に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

昭和61年の供用開始後35年程経過しています。下水道施設の維持管理と延命化が必要となってくる中、令和2年度に長期的な視点で下水道施設全体の老朽化の状況を考慮し、ストックマネジメント計画を策定しました。今後はこの計画に基づき、下水道施設の点検、修繕、更新への取組を行ってまいります。

2. 老朽化の状況



全体総括

下水道事業は今後、人口減少等による使用料収入の減少、施設の老朽化に伴う維持管理、更新費用の増加が見込まれます。継続して安定した下水道事業の運営を行っていくために、経費回収率の向上と計画的な施設の老朽化対策を行ってまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。